

専門実践教育訓練明示書(様式例)

講座の名称	医歯学総合研究科医科学専攻 修士課程高度メディカル専門職コース			
実施方法	① 通学(<u>昼間</u>)・夜間・土日 → ② 通信 スタディン グ (回数 回)			
指定講座番号(15桁)	4610008	—	1710011	— 8
講座の創設年月日	専門実践教育訓練給付金対象講座の指定期間 平成 25 年 4 月 1 日 令和 11 年 3 月 31 日まで	過去一年の講座実績	入講者数(4 人) 令和6年4月入学者	修了者数 (1 人) 令和7年3月修了者
訓練期間	24 ヶ月	総訓練時間	450 時間	
1. 教育訓練目標				
①取得目標とする資格の名称、目標レベル	<input type="checkbox"/> 業務独占資格・名称独占資格 () <input type="checkbox"/> 職業実践専門課程 () <input type="checkbox"/> キャリア形成促進プログラム () <input type="checkbox"/> 専門職大学院 () <input checked="" type="checkbox"/> 職業実践力育成プログラム (保健) <input type="checkbox"/> 情報通信技術関係資格 () <input type="checkbox"/> 第四次産業革命スキル習得講座 () <input type="checkbox"/> 専門職大学、専門職短期大学、専門職学科 () 教育訓練を通じて取得を目指す上記以外の資格等 <p style="text-align: center;">修士(医科学)</p>			
②①に係る資格・試験等の実施機関名称	鹿児島大学			
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等	学校教育法第83条に定める大学を卒業した者または同等の能力があると認められた者。 医科学専攻に合格した後、高度メディカル専門職コースまたは先端バイオサイエンスコースを選択する(コース別の定員は設けていない)。			
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況	メディカルスタッフ(臨床検査技師、薬剤師、歯科技工士、放射線技師、看護師、介護福祉士、メディカルコーディネーター等)			
2. 教育訓練の内容				
教科 (カリキュラム)	時間	使用教材名		
人体の構造と機能(必修科目)	30時間	シラバス又は講義において指定		
分子細胞医科学総論(必修科目)	30時間	シラバス又は講義において指定		
疾病論・病因論・予防論(必修科目)	30時間	シラバス又は講義において指定		
高度メディカル実習(必修科目)	45時間	シラバス又は講義において指定		
生命医療倫理学(必修科目)	30時間	シラバス又は講義において指定		
医科学論(必修科目)	30時間	シラバス又は講義において指定		
医科学研究B(必修科目)	90時間	シラバス又は講義において指定		
医学生物学データ解析演習(選択必修科目)	左記から 6単位分を選択 (90時間)	シラバス又は講義において指定		
臨床病態学(選択必修科目)		シラバス又は講義において指定		
離島・地域医療学(選択必修科目)		シラバス又は講義において指定		
臨床薬剤学概論(選択必修科目)		シラバス又は講義において指定		
感染と生体防御(選択必修科目)		シラバス又は講義において指定		
臨床法医学(選択必修科目)		シラバス又は講義において指定		

災害医療学(選択必修科目)		シラバス又は講義において指定
高度医療学研究(選択必修科目)	75時間	シラバス又は講義において指定
バイオサイエンス実習(自由科目)	修了要件単位 には 含まれない (ただし履修は 可能)	シラバス又は講義において指定
英語で学ぶ生命科学(自由科目)		シラバス又は講義において指定
分子薬理学・創薬科学(自由科目)		シラバス又は講義において指定
再生・先端医療学(自由科目)		シラバス又は講義において指定
顎顔面放射線学(自由科目)		シラバス又は講義において指定
人体解剖実習(自由科目)		シラバス又は講義において指定
神経科学入門(自由科目)		シラバス又は講義において指定
英語で読む神経生物学の原理(自由科目)		シラバス又は講義において指定
疫学基礎(自由科目)		シラバス又は講義において指定

3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など)

①受講するに当たって必要な実務経験等	メディカルスタッフとしての経験を有する者、 またはメディカルスタッフとして就職を希望する者
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・ 技能・知識等の内容及びその水準	大学卒業と同等以上の基礎学力と、専門分野に関連する地域及び 国際社会の諸問題への関心
③その他	なし

[特記事項]

--

専門実践教育訓練明示書(様式例)

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

(1) 資格取得状況

① 前年度の修了者数（令和6年3月修了者）	4	人			
② ①に係る教育訓練の入講者数	3	人			
③ ②のうち目標資格の受験者数	0	人	受験率(③/②)	-	%
④ ③のうち合格者数	0	人	合格率(④/③)	-	%
⑤ ①(修了者数)のうち就職者数 ※1	0	人			
⑥ ①(修了者数)のうち在職者数 ※2	3	人			

※1 前年度の修了者のうち、受講開始時に職に就いていなかった者で修了後に就職した者。

この場合、就職したとは、臨時的な仕事に就職した者は含まない。

※2 受講開始時に既に職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある者及び受講開始時に既に職に就いている者で、修了後に別の職に転職した者。

(2) 受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数		4	人			
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	4	人	②A: 就業者計 <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin: 5px auto;"></div>		
	2 非正社員、派遣社員	0	人			
	3 その他の就業(自営業等)	0	人			
	4 非就業	0	人			②B: 非就業者計
③ 受講開始前と現在の就業先の変化	1 受講開始時の就業先と現在の就業先は同じ	3	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下) <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin: 5px auto;"></div>		
	2 受講開始時の就業先と現在の就業先(自営業等含む)は異なる	0	人			
	3 受講開始時は就業していたが、現在は就業していない	1	人			
④ 受講後の就業形態	1 正社員	3	人	④A: 就業者計 <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin: 5px auto;"></div>		
	2 非正社員、派遣社員	0	人			
	3 その他の就業(自営業等)	0	人			④B: 非就業者計 <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin: 5px auto;"></div>
	4 非就業者	1	人			
⑤ 受講後の賃金変化	1 3割以上増加した	0	人	⑤の回答数合計 ※④Aと同数(又はそれ以下) <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin: 5px auto;"></div>		
	2 1割以上3割未満増加した	0	人			
	3 1割未満増加した	0	人			
	4 変わらない	3	人			
	5 1割未満減少した	0	人			
	6 1割以上3割未満減少した	0	人			
	7 3割以上減少した	0	人			
⑥ 講座の受講の効果	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	0	人	⑥の回答数合計 <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin: 5px auto;"></div>		
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	0	人			
	3 社内外の評価が高まる	0	人			
	4 早期に転職・再就職できる	0	人			
	5 希望の職種・業界に転職・再就職できる	1	人			
	6 より良い条件(賃金等)で転職・再就職できる	1	人			
	7 趣味・教養に役立つ	0	人			
	8 その他の効果	1	人			
	9 特に効果はない	1	人			
⑦ 受講開始時に就業していなかった受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	0	人	⑦の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下) <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin: 5px auto;"></div>		
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	0	人			
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	0	人			
	4 就職していない	0	人			

⑧ 講座の全体評価	1 大変満足	0	人	⑧の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)
	2 おおむね満足	3	人	
	3 どちらとも言えない	1	人	
	4 やや不満	0	人	
	5 大いに不満	0	人	
4人				
(3)受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価 等)				
講座の全体評価は、回答者の大半が「大変満足」「おおむね満足」と回答している。社内外の評価の向上につながっているようである。				
5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法				
1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法 (通信制講座の場合)	科目ごとの試験・レポートにより理解度・到達度を測定する。			
スクーリングの実施場所、時期、期間・回数				

専門実践教育訓練明示書（様式例）

6. 受講効果の把握方法			
(1) 受講認定基準 (6ヶ月ごとの出席率・定期試験、進級試験等の具体的基準)	講義等への出席と、科目ごとの定期試験をもって合格の認定とする。 補講・追試は科目担当教員の指示に従う。		
(2) 受講認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	科目ごとの試験・レポートにより理解度・到達度を測定する。		
(3) 修了認定基準 (出席率・修了認定試験等の具体的な基準)	30単位以上(必修科目19単位、選択必修科目11単位以上)を修得し、かつ、修士論文の審査及び最終試験に合格すること		
(4) 修了認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	修士論文発表会および最終試験では、医歯学総合研究科のディプロマポリシーに定める以下の能力を身につけているかどうかを審査し、可否を判定する。 1. ヒトの疾病の予防と治療、環境の保全と社会の発展に応用できる専門的知識と基本的な能力 2. 将来、医科学およびライフサイエンスの多様な分野で社会貢献できる専門家としての基本的な能力 3. 広い視野と高い倫理観をもって、学術研究を基盤とした専門的知識・技能を医療や関連領域に応用する能力 4. 専門分野における基礎的な研究能力と高度な学識と専門性を活かして、地域と国際社会の発展に貢献できる能力		
7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法			
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	プログラムの担当教員が講義・研究指導を通じて、各受講者の習得度・理解度を日常的に判断し指導する。		
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例: 資格取得関連情報や資格関連職種の人事情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	・指導教員による研究指導 ・就職支援担当係による就職情報の提供		
8. その他の事項			
指定教育訓練実施者名 及び代表者名	国立大学法人 鹿児島大学 (代表者名: 井戸 章雄)		
住所及び連絡先	〒890-0065 鹿児島県鹿児島市郡元1-21-24 TEL 099-285-8531(代表)		
施設名称及び施設長名	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 (施設長: 田川 義晃)		
住所及び連絡先	〒890-8544 鹿児島県鹿児島市桜ヶ丘8-35-1 TEL 099-275-5111(代表)		
苦情受付者	氏名 原田 ゆかり 所属 学生部教務課総務係長	事務担当者	氏名 川崎 さおり 所属 医歯学総合研究科等学務課長
連絡先	TEL 099-285-7315	連絡先	TEL 099-275-5120
専門実践教育訓練経費	1. 専門実践教育訓練給付金の対象となる経費 ① + 1,353,600 円		
支払い方法	① 入学料(税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)		
① 一括払	282,000 円		
② 分割払	第1期 267,900 円 第2期 267,900 円 第3期 267,900 円		
③ 両方可能	② 受講料(税込額) (※割引・還元措置を実施した場合には)		

